

「広島の水辺空間について考えるワールドカフェ」実施レポート

2025 年 5 月 23 日

株式会社水都広島

【実施概要】

- ・ 日時：2025 年 5 月 21 日（水）18:30～20:00
- ・ 会場：広島都心会議まちづくり拠点「SHOW ROOM」
- ・ 主催：株式会社水都広島 協力：広島都心会議
- ・ 参加人数：31 名
- ・ 形式：ワールドカフェ方式（3 ラウンド制／各テーブル 5～6 名）

【全体概要】

- ・ 本イベントは、広島河川空間について市民や関係者が自由に意見交換し、対話を通じて新たな気づきやネットワークを得ることを目的に開催された。
- ・ 会場は終始和やかで活発な雰囲気に包まれ、多様な立場の参加者から率直な意見やアイデアが交わされた。

【ラウンド 1：広島河川の魅力って何だろう？】

- ・ 川の様々な風景（原爆ドーム、路面電車、落ち着く、夕日、昔から変わらない）
- ・ 水辺のコンサート
- ・ 川辺で休める（ベンチが充実）
- ・ 流れが穏やか
- ・ 各々が近接
- ・ 河原での活動の自由度が高い（遊び場、BBQ 等許可不要）
- ・ 雁木が多い
- ・ 宮島とつながっている
- ・ 木々がきれい（柳、桜）
- ・ 干満差が大きい（景色変化）
- ・ 川底が歩ける
- ・ 水面占有率 2 位
- ・ 石垣
- ・ 遊歩道（ウォーキング、ランニング、犬の散歩、通勤通学）が整備されている

- 災害が少ない（洪水）ことで安心快適
- 太田川を源流に 6 本の川により構成されている
- 川で市内を一周できる
- 泳げる
- 水産物が豊富（イワナ、鮎、牡蠣、シジミ、アマゴ）
- 釣りができる
- 親水性が高い（川辺にフェンスがない、川土手がある、川に降りやすい）
- 汽水域がある
- いろいろな橋（自転車通りやすい、人道橋、古い橋）がある
- リバーサイドマンション
- 土木遺産
- 収益事業のポテンシャル
- BBQ ができる
- かなわ
- 歴史がある
- ライトアップがきれい
- 雁木タクシー
- 野鳥
- 川辺近くのおしゃれなカフェ（場所による）
- みんなで協力して掃除している

【ラウンド 2：20 年後、広島川の川に何があってほしい？】

- お酒を飲める環境（川沿い、屋台船、市民の意識）
- 川辺の憩いの場になる場所（カフェ、コミュニティ）
- 交通手段（水上タクシー等）
- 子供が水に触れる機会（水泳の授業など）
- 個人が持つお気に入りの場所（橋、噴水、ライトアップ、写真映えする場所等）
- 夜間の明かり（街灯、ライトアップなど）
- 美しくみんなが遊べる川に（ローカルルール of 明確化、ごみを無くす、草木の整備）
- 安心感を与える（防災対策、水質管理）
- アクティビティが行いやすい環境（遊歩道を広く、水上スポーツの誘致、規制維持等）
- 水辺の店を増やす（水上マーケット、橋上商店等）
- 水辺の催しを増やす（音楽、水上ステージ、マルシェなど）

【ラウンド3：そのために今、何ができる？】

- ルール作りや教育などで安全性を高める
- 川のブランディング（場所の愛称、上流から下流の川辺の情報発信）
- 川の環境整備（水質維持向上、ごみを減らす等）
- 川を使った移動手段の整備（タクシー、栈橋、川版電動キックボード、便利な橋）
- 電源やライトのなどの電気設備導入
- 川を身近なものにする（アクセス方法を増やす、足を運ぶ、バリアフリー、牡蠣船等）
- 川のルールの明確化（係留関係、オープンカフェ関係、交通関係等）
- 利用者を増やす（特に子供）
- 全体的な民度の向上

【振り返り・共有タイムからの意見（抜粋）】

- 「子供たちへ川辺のすばらしさを伝えていきたい」
- 「今ある良さを失わないようにしていきたい」
- 「多くの人が使うようになりつつ民度を高く保ちたい」
- 「電源整備が必須」
- 「現状の川の状態から緩やかな変化で川をより身近で親しみやすいものにしていくことを望む」

【参加者アンケート結果】

有効回答数：15 件 イベント平均満足度：6.00（7 点満点）

イベントの良かった点、悪かった点（上位 5 項目）：雰囲気が良かった（13 件）学びや気づきがあった（10 件）時間配分がちょうどよかった（9 件）自由に意見が言えた（9 件）ファシリテーターの進行がスムーズだった（6 件）